



絵手紙すべて登坂和雄

特集・かいて見つける今日の自分、今日の風

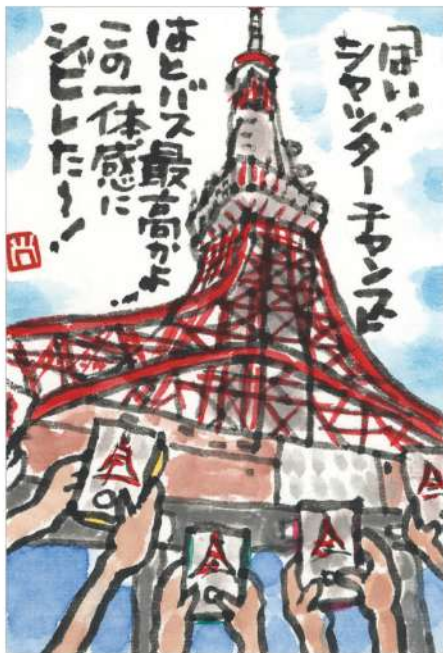
登坂和雄流 スケッチのススメ

——むこうじまひゃっかえん庶民の庭園・向島百花園を訪ねて

花や風景、自然にはいつも気づかされることばかり。いつだって自然は偉大な先生です。もうすぐ過ごしやすい季節がやってきます。ぜひ、身近な魅力を再発見できるスケッチ散歩に出かけてみませんか。東京の下町で生まれ育った、日本絵手紙協会会長の登坂和雄が足しげく通う、庶民の庭園・向島百花園の景色を紹介します。



大井戸奈生子(滋賀)
5月、津軽海峡大間崎で。寒風吹きささぶ冬はどんなに寒いだろう。



藤本尚美(広島)
私は「東京のバスガール♪」、まさしく良き昭和を感じました。



富田和子(兵庫)
富山の絵友さんに連れて行ってもらった、「あさひ舟川 春の四重奏」(雪山、桜、菜の花、チューリップ)。最高でした! ありがとう!

ひろば

読者投稿

かいて、送って、みんなでおしゃべり



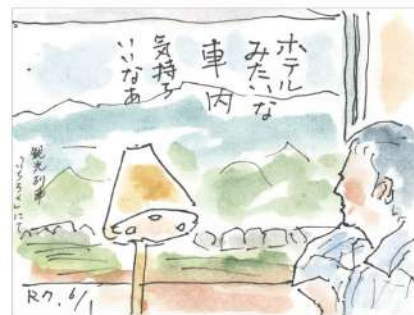
テーマ「旅の景色」

心が動く、かきたくある景色を求めて。さあ日常を飛び出してみましょう。

・自由絵手紙 ・わたしの昭和 ・なんでも100字 ・活動報告



鴨川悦子(福岡)
九州と本州をつなぐ関門橋。間近で見ると心に迫ります。



後藤敦子(大分)



板野みえ子(岡山)
忘れられない谷川連峰の雪渓でした。



手紙は人を変えていく 心の中まで変えていく

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいい ヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう

こいけ・くにお

絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいい ヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。